

寒川町告示第110号

水防法（昭和24年6月4日号外法律第193号）第14条の2第2項の規定に基づき、次のとおり雨水出水浸水想定区域を指定したので、同条第4項の規定により公表する。

また、水防法施行規則（平成12年11月21日建設省令第44号）第6条の規定に基づき、これらを表示した図面を次の閲覧場所において閲覧に供する。

令和6年11月14日

寒川町長 木村俊雄

指 定 年 月 日	令和6年11月5日
指 定 の 区 域	別図（雨水出水浸水想定区域図（想定最大規模降雨））の公共下水道の全体計画区域（赤枠）の内、浸水が想定される区域（着色部）
浸水した場合に想定される水深	別図（雨水出水浸水想定区域図（想定最大規模降雨））の凡例（浸水した場合に想定される浸水（ランク別））のとおり
浸水継続時間	別図（雨水出水浸水想定区域図（浸水継続時間））の凡例（浸水深0.5m以上が継続する時間）のとおり
閲 覧 場 所	寒川町役場 寒川町宮山165 都市建設部 下水道課窓口

雨水出水浸水想定区域図 (想定最大規模降雨)

1. 説明文

- ① この図は、近年の大雨であった平成 26 年 10 月 5 日降雨の約 2 倍の雨が降った場合に浸水が想定される範囲やその深さを表したものです。この図で色がついていない場所は、計算上では浸水しない場所です。しかし、雨の降り方によっては、この図に示されていない場所でも浸水し、浸水深も深くなる場合があります。
- ② この図は、想定最大規模降雨（1 時間雨量 153mm）により内水氾濫が発生した場合に想定される浸水の状況を、シミュレーションにより予測したものです。
- ③ シミュレーションの実施にあたっては、指定の前提となる降雨を超える規模の降雨、津波、高潮、河川の破堤や越水による氾濫等を考慮していませんので、この図での想定を超える浸水が発生する可能性があります。
- ④ この図において、水防法第 14 条の 2 の規定により定められた雨水出水浸水想定区域は、公共下水道の全体計画区域（赤枠）のうち浸水が想定される区域（着色部）で示しています。
- ⑤ 水害時において避難や水防活動を開始するタイミングは、お住いの状況等により異なることから、自らの判断で適切に行動してください。

2. 基本事項等

- ① 作成主体：寒川町
- ② 指定年月日：令和 6 年 11 月 5 日
- ③ 告示番号：寒川町告示第 110 号
- ④ 指定の根拠法令：水防法（昭和 24 年法律第 193 号）第 14 条の 2
- ⑤ 指定の前提となる降雨：想定最大規模降雨（1 時間雨量 153mm、24 時間総雨量 436mm）
- ⑥ 浸水想定手法：浸水シミュレーション手法[降雨損失・表面流出・管内水理・氾濫解析]を一連で実施
- ⑦ 境界条件：河川の水位は堤防高相当、樋門は河川の水位が雨水路の水位よりも高くなったときに閉塞
- ⑧ その他計算条件等：対象区域を 5m（25m²）のメッシュに分割し、メッシュごとの浸水深を計算



凡 例

浸水した場合に想定される浸水(ランク別)

- 20m以上
- 10～20m未満
- 5～10m未満
- 3～5m未満
- 1～3m未満
- 0.5～1m未満
- 0.3～0.5m未満
- 0.3m未満

行政区域

公共下水道の全体計画区域

0 250 500 750 1,000 m

雨水出水浸水想定区域図 (浸水継続時間)

1. 説明文

- ① この図は、近年の大雨であった平成 26 年 10 月 5 日降雨の約 2 倍の雨が降った場合に、0.5m 以上の浸水が継続する時間を表した図面です。しかし、雨の降り方によっては、この図に示されていない場所でも浸水し、浸水継続時間も長くなる場合があります。
- ② この図は、想定最大規模降雨（1 時間雨量 153mm）により内水氾濫が発生した場合に想定される浸水の状況を、シミュレーションにより予測したものです。
- ③ シミュレーションの実施にあたっては、指定の前提となる降雨を超える規模の降雨、津波、高潮、河川の破堤や越水による氾濫等を考慮していませんので、この図での想定を超える浸水が発生する可能性があります。
- ④ この図において、水防法第 14 条の 2 の規定により定められた雨水出水浸水想定区域は、公共下水道の全体計画区域（赤枠）のうち 0.5m 以上の浸水が継続する区域（着色部）で示しています。
- ⑤ 水害時において避難や水防活動を開始するタイミングは、お住いの状況等により異なることから、自らの判断で適切に行動してください。

2. 基本事項等

- ① 作成主体：寒川町
- ② 指定年月日：令和 6 年 11 月 5 日
- ③ 告示番号：寒川町告示第 110 号
- ④ 指定の根拠法令：水防法（昭和 24 年法律第 193 号）第 14 条の 2
- ⑤ 指定の前提となる降雨：想定最大規模降雨（1 時間雨量 153mm、24 時間総雨量 436mm）
- ⑥ 浸水想定手法：浸水シミュレーション手法[降雨損失・表面流出・管内水理・氾濫解析]を一連で実施
- ⑦ 境界条件：河川の水位は堤防高相当、樋門は河川の水位が雨水路の水位よりも高くなったときに閉塞
- ⑧ その他計算条件等：対象区域を 5m（25m²）のメッシュに分割し、メッシュごとの浸水深を計算

